日英同時
通訳あり

第３２回日本道路会議
国際セッション
〔途上国における道路プロジェクトを通じて道路整備の原点を振り返る〕

～ネパール･シンズリ道路建設事業を事例に～

日　時
平成29年11月1日（水）
13：00～15：00

会　場
都市センターホテル 3F コスモス(1)
東京都千代田区平河町2-4-1

◆コーディネーター
木全俊雄 氏
（元国土交通省･ネパール道路局派遣JICA専門家）
◆パネリスト
亀井温子 氏
（国際協力機構 南アジア部 参事役）
Bindu Shamsher Rana氏
（元ネパール道路局シンズリ道路建設事務所長）
山下佳久 氏
（日本工営コンサルタント海外事業本部副技師長）
猪狩哲夫 氏
（安藤ハザマ ネパール事務所長）

詳しくは日本道路会議ホームページ http://www.road.or.jp/conference 参照

道路会議への参加には事前の会議参加登録が必要です。

シンズリ道路とは

- 1996年に日本の無償資金協力で着工。約20年かけて2015年3月にようやく全線開通。総延長160キロメートル。
- 首都カトマンズ盆地と周辺国，特にインドを結ぶ物流の生命線

苦労

- 既存の道路がなく工事関係者用生活物資をヘリコプターで輸送
- 不安定な政情による工事の中断
- 記録的豪雨による斜面崩壊や土石流
- 自動車が初見の子供も多く，走行中の自動車に近づいてくる　など

効果は絶大

- 道路が全く無い地域だっただけに，経済活動の発展や教育・保健医療の改善に絶大なインパクト